

地域情報

平成29年度野菜振興協会鹿本支部（園芸部長会、女性部会および技術部会合同） 先進地視察及び意見交換会の開催

（一社）熊本県野菜振興協会鹿本支部

鹿本地域は、全国有数のスイカ産地ですが、担い手の減少・高齢化により作付面積の減少が進んでいます。その原因の一つとしてスイカ等瓜類の作付け期間が短く、スポット的な雇用が多く、近年、その短期間の労働力確保が困難となってきたことが挙げられます。

そこで、野菜振興協会鹿本支部では、園芸部会・女性部会員、及びJA鹿本、農業普及・振興課の各担当職員が参加した労働力確保に係る先進地視察研修を行いました。

まず、JA全農大分において労働力支援を行っている事例について研修を行いました。ここでは農業専門の人材派遣会社と連携しながら主に高冷地のキャベツ収穫を中心に人材を確保している事例についての説明を受けました。JA全農大分が苦労している点として一年間企業存続ができる仕事を受注できるか等様々な課題が上げられました。

次に、JR九州ファーム（大分市）による企業参入の取組みとして、現地のニラ栽培を視察しました。収穫作業人員と調整作業人員を分け、農副連携も利用しながら、JA大分へ出荷を行っており、今後はグローバルGAP取得を視野に入れながら、販売力強化を目指しています。

園芸部会・女性部会両者とも労働力確保に関する取組みに注目しており、民間の派遣会社との連携やJA菊池が行っている農援隊等の労働力補完組織創出等様々な取組みが必要と実感されました。



JA全農大分への視察



JR九州ファームへの視察